

＜平成29年11月までの実績＞

担当教員名	区分	テーマ	概要
産業情報学科 青木 孝弘	授業	地域プロジェクト演習「あいづグローバル・ブランディング戦略」	本学と会津大学、東北芸術工科大学、留学生を加えた学生チームが、地域活性化に取り組む4地域でフィールドワークを通い、世界的なソーシャル・リスニング企業 Zanroo 社の協力を得て、ブランディングプランを作成する。井波純先生、横尾誠先生、八木橋彰先生、渡部琢也先生との共同研究事業。
	ゼミ活動・授業	衆議院議員選挙事務所訪問	選挙権が18歳に引き下がられて初の衆議院議員選挙が行われた10月、産業情報学科共通選択科目「社会調査技法」の受講生とゼミ生とで、複数の候補者の事務所を訪問し、地域振興など政策面や、若者の政治参加等について候補者と事務所関係者に対して質問を行った。
	卒業研究	中小企業、ソーシャルビジネスの研究	ゼミ2年生5名が各自設定した研究テーマについて、文献調査や県内企業等へのアンケート、インタビュー調査等を行い考察した。 1「日本遺産を活用した地域活性化の考察」 2「宿泊施設の外国人向け災害対策のあり方—事業継続計画(BCP)の実態調査から—」 3「ふるさと納税の新戦略—ガバメントクラウドファンディングの活用—」 4「域学連携による地域活性化の効果」 5「コワーキングスペースの役割と効果—全国と東日本大地震被災地三県の比較—」
	ゼミ活動	福島県内の起業家実態調査	福島県内で新たな事業を展開する「福島インフォメーションリサーチ&マネジメント」「みやこじスイーツゆい」「English Place Cafe」「坂本乙造商店」の主宰者に対してヒアリング調査を行い、「ふくしまの起業家魂」として発行(予定)。

		東京オリンピック 2020 公認プログラム「ふくしまアイデアコンテスト」	2020 年東京オリンピック開幕 1,000 日前となる 10 月 28 日、あづま総合体育運動公園で、10 組の高校生、大学生が熱意あふれるプレゼンテーションを行った。幼児教育学科渡部琢也先生の指導学生 3 チームと産業情報学科 1 チームが参加。結果、「みんなで作るウェブサイト～ありのままの福島を～」が特別賞を受賞した。
		中高生向け「ふくしま地域貢献企業ガイドブック」の制作	福島県内で震災復興と本業の両立に成功している 10 社に対してヒアリング調査を行い、中高生にも分かるようにイラスト入りのブックレットを作成中。その一部を活用して、11 月 9 日に会津学鳳中学・高校にて派遣授業を実施した。
		企業との連携による課題解決	会津若松市内で障がい者雇用(就労継続支援 A 型)に取り組む MARC と連携して、持続可能なマネジメントの仕組みについて共同で検討した。
		会津若松市外部評価委員会の傍聴	「子育て支援事業」「森林・林業」「中心市街地活性化」「公共施設」の 4 テーマで協議された平成 29 年度の同委員会をゼミ生 2 名が傍聴し、各テーマの施策と評価について学習した。
		ボランティア活動	田村市都路町敬老会のボランティア
	その他	「奥会津グリーンツーリズム若者交流事業」	福島県会津農林事務所とアカデミア・コンソーシウムふくしま主催する同企画に、ゼミ生 2 名が参加し、金山町(9 月 4～6 日)において、ピーマンの収穫や山入り歌舞伎の観賞、民泊体験を通して、地域活性化について学習した。
産業情報学科 八木橋 彰	地域プロジェクト	イノベーション塾 2017～あいづグローバル・ブランディング戦略～	会津大学や東北芸術工科大学の学生とともに、グローバル・ブランディングを意識した効果的なプロモーションプランを作成しており、その中でもブランディングに関する講義やグリーンツーリズムのフィールドワークを担当した。 * 井波教授・横尾准教授・青木講師との共同実施

	ゼミ活動	棚田オーナー制への参加	会津地域 5 地区で実施されている棚田オーナー制において、とりわけ田植えと稲刈りに参加した。これらの活動を通じて、主催者や参加者との交流を深めるとともに、会津地域の商業にとって重要な米をはじめとした農産物を生産することの難しさ、困難さ、楽しさを体験した。
産業情報学科 井波 純	授業を通じたゼミ活動	第 71 回福島県総合美術公募展出品【入賞】	第 71 回福島県総合美術展覧会に向け、作品制作を授業で取り上げ 1 年次で学んだ漆芸基礎技法を元に作品制作にあたった。卒業研究制作に繋がるものとし、公募展出品を通して、絶対的な締め切り日に対する制作工程計画や技法研究について学ぶ機会とした。 5名の応募者全員が入選し、内 1 名が青少年美術奨励賞を受賞した。入選作品は、福島県文化センターにて展示され、全員の作品をあいづまちなかアートプロジェクト 2017「会津・漆の芸術祭」での、漆芸教育を行う大学による合同展示「うるし その可能性と未来」展においても短期大学部代表作品として展示された。
	ゼミ活動	あいづまちなかアートプロジェクト 2017「会津・漆の芸術祭」真夏の漆塾	あいづまちなかアートプロジェクト 2017「会津・漆の芸術祭」において「真夏の漆塾」(8 月 18 日～21 日)を企画し、学生とともに参加・指導にあたった。京都市立芸術大学、広島市立大学、富山大学、東北芸術工科大学の教員・学生を迎え、会津漆器職人の工房見学、会津伝統漆芸技法「消粉蒔絵・色粉蒔絵・一釘」の講習等を通し、大学間交流による意見交換と技法研究の実践的な機会となった。
		あいづまちなかアートプロジェクト 2017	あいづまちなかアートプロジェクト 2017「会津・漆の芸術祭」において、会津若松市内の空き蔵や空き店舗を利活用し、漆芸教育を行う大学による合同展示「うるし その可能性と未来」展を開催するため、蔵

		「会津・漆の芸術祭」	の清掃、ディスプレイ、作品管理、展示作業等を通して地域活性に向けた企画進行について学ぶ機会とした。
産業情報学科 柴崎 恭秀	卒業研究	昭和村廃校リノベーションデザイン研究	昭和村で現在進められている喰丸小学校廃校の再生に対して、昭和村の主産業であるカスミソウ栽培に関連した施設としての活用プログラムの構築とリノベーションデザイン提案を行っている。平成29年度実施。
		子ども食堂の空間デザイン研究	主に会津地域、福島県内を中心に子ども食堂の実態調査を行い、子ども食堂で試行されているアクティビティプログラムの掌握と分析を行い、空間デザインを提案する。平成29年度実施。
		左官技術を現代の空間デザインに活かす	技術継承が困難になっている左官技術を現代の生活空間で活用するデザイン提案を検討するプロジェクト。平成29年度実施。
		シェアカフェによる空き家利活用デザイン提案	会津若松市馬場町にある堤製作所が所有する空き家の利活用をワークショップやレクチャー等を通して行い、また堤製作所のプロモーションも同時に行うことで、市内の空き家利活用の可能性を探る。堤製作所のプロモーションについては平成27年度から継続、本プロジェクトは平成29年度実施。
		五泉市機業場調査研究	新潟県五泉市にかつては多く在った絹織物機業場の、現在では1件となった建築的特徴を表す鋸屋根工場を実測調査し、その特徴を明らかにしながら後世に伝えるデザイン提案を行う。平成29年度実施。
		地域木材パネルの有効活用デザイン研究	福島県南の企業等で考案、製作されている厚物集成材パネル、いわゆる Wood.ALC パネルのデザインの多様性を研究するプロジェクト。平成29年度実施。

産業情報学科 高橋 延昌	卒業研究	首都圏での奥会津PRポスター	<p>首都圏に向けて奥会津地方の魅力を伝えるため、電車中吊り広告や駅貼りポスターなどでPRしている。2017年度は7月(夏)・9月(秋)・1月(冬)・3月(春)の4回、掲示場所は都営地下鉄全線、相模鉄道などである。</p> <p>昨年度からの継続的な事業であるが、2017年度は「心のふるさと！奥会津へ」というテーマで実施している。</p>
		首都圏の大学生との奥会津視察及び合同合宿	<p>首都圏の大学生(東京大学・拓殖大学・大月短大)と会津大学生、ゼミ学生6名の総勢40名と一緒に奥会津地方やJR只見線を現地視察した。そして、9月に会津若松市で、12月に東京でシンポジウムを開催し、奥会津地方及び只見線の利活用について学生視点から地域へ提言している。</p> <p>一昨年度からの継続的な事業であるが、2017年度は「奥会津に古民家キャンパスをつくろう」というテーマで実施している。</p>
		第14回時空の路ヒルクライム大会デザイン	<p>時空の路ヒルクライム大会実行委員会から大会をひろく訴求するため新しいデザインを依頼された。結果、会津大学短期大学部産業情報学科デザイン情報コース学生3名(佐藤美咲・佐藤のど佳・丸山佳純)のデザイン(ポスター/大会ロゴ/エンブレムの3点)が正式採用された。</p> <p>大会当日(2017年5月21日)は、ゼミ学生6名が会場へ行き、PR活動を通じて大会を盛り上げた。</p>
		会津戊辰150周年記念PR【芝生アート】	<p>一般財団法人会津若松観光ビューローからの依頼により、会津戊辰150周年記念事業の一環として、鶴ヶ城の本丸芝生に巾40メートルの巨大な地上絵をゼミ学生がデザインおよび設置した。公開期間は2017年7月から8月までだった。</p>

		会津戊辰150周年記念PR【登閣記念品】	一般財団法人会津若松観光ビューローからの依頼により、会津戊辰150周年記念事業の一環として、元旦に鶴ヶ城天守閣を登閣した時の記念品をゼミ学生がデザインした。2018年1月1日に記念品を配布する予定。
		会津戊辰150周年記念PR【ワシントンホテル】	会津若松ワシントンホテルからの依頼により、会津戊辰150周年記念事業として、ゼミ学生がホテル1フロビーでデザインする。公開期間は2018年3月からの予定。
		グラフィックデザイン作品展2017	グラフィックデザイン作品展2017は、学生の企画・運営により、8月27～29日に会津若松市生涯学習総合センターでゼミ学生（高橋ゼミと北本ゼミ）がグラフィックデザイン作品展を開催した。テーマは「COLORFUL」とし、地域に向けて日頃のデザイン成果を発表した。来場者数は約200名。
		地産地消キャラクター予備審査	10月2日、会津若松市より依頼され、地産地消キャラクターの予備審査をゼミ学生1年生6名が行った。
		定期発行誌の表紙イラスト（計12回）	地元ミニコミ誌より依頼され、定期発行誌の表紙イラストをゼミ学生が担当した。2017年度は計12か月分を実施（2017年4月から2018年3月まで）。
		野口英世没90周年記念デザイン	公益財団法人野口英世記念会からの依頼により、2018年の野口英世没90周年記念に関するデザインをおこなう。2017年度は調査のみ、具体的な成果物は2018年に公開予定。
		あいづっこ宣言PRデザイン	会津若松市教育委員会からの依頼により、「あいづっこ宣言」PRに関するデザインをおこなう。2017年度は調査のみ、具体的な成果物は2018年に公開予定。

産業情報学科 高橋 延昌 ※食物栄養学 科・鈴木秀子 先生とのコラ ボ	卒業研究	チャレンジふく しま県民運動	福島県企画調整部からの依頼により、チャレンジ ふくしま県民運動に係る「県内大学生との連携した 広報・PR」をゼミ学生がデザインしている。具体的 な成果物は2018年2月に完成予定。
産業情報学科 高橋 延昌	デザインコ ンペ	ラジオ番組表表 紙デザイン	株式会社エフエム会津からの依頼で本学学生対 象に行われたデザインコンペ。学生が番組表表紙の デザインを制作し応募するもの。デザイン情報コー ス2年・門前彰太の作品が選ばれ、2017年度春・夏・ 秋・冬の表紙を担当している。 http://www.jc.u- aizu.ac.jp/11/142/comp/fmaizu2017/fmaizu2017 .htm
		南会津町 B 級 グルメ「トルティ ーヤ」パッケー ジ	南会津町商工会青年部からの依頼で本学学生対 象に行われたデザインコンペ。南会津町の特産品を 詰め込んだ新しいB級グルメ「トルティーヤ」のパッ ケージデザインを学生が制作し応募した。結果、デ ザイン情報コース2年・根元かな子の作品が選ばれ た。 http://www.jc.u- aizu.ac.jp/11/142/comp/minamiaizu17/minamiaiu zu17.htm
		会津若松市保 健委員会「市民 健康ウォーク」 ポスター	会津若松市保健委員会からの依頼で本学学生対 象に行われたデザインコンペ。「第10回市民健康ウ ォーク」のポスターデザインの募集が行われた。結 果、デザイン情報コース2年・門前彰太の作品が選 ばれた。 http://www.jc.u- aizu.ac.jp/11/142/comp/walk2017/walk2017.htm
		会津 IT 秋フォ ーラム 2017 デ ザイン	会津大学が主催する「会津IT秋フォーラム」のポ スターデザインを短期大学の学生に対しコンペ形 式での応募を依頼された。デザイン情報コース1年・ 小山雄基の作品が選ばれた。 http://www.jc.u- aizu.ac.jp/11/142/comp/it17/it17.htm

		<p>あいづミード「ヌーヴォー」ラベルデザイン</p>	<p>有限会社峰の雪酒造場からの依頼で本学学生対象に行われたデザインコンペ。あいづミード「ヌーヴォー」ラベルデザインを学生が制作し、応募するもの。結果、デザイン情報コース2年・佐藤美咲(高橋ゼミ)の作品が選ばれた。</p> <p>なお、地域から発信されるアイデアを応援する趣旨で、会津商工信用組合のサポートによるクラウドファンディング「MOTTAINAIもっと」が活用された。</p> <p>http://www.jc.u-aizu.ac.jp/11/142/comp/mead2017/mead2017.htm</p>
		<p>会津ばんげ産米「天のつぶ」ロゴマーク</p>	<p>会津ばんげ産米天のつぶ推進協議会からの依頼で本学学生対象に行われたデザインコンペ。会津ばんげ産米「天のつぶ」のロゴマーク(シンボルマーク)デザインを学生が制作し、応募するもの。結果、デザイン情報コース2年・渡辺彩子の作品が選ばれた。</p> <p>なお、地域から発信されるアイデアを応援する趣旨で、会津商工信用組合のサポートによるクラウドファンディング「MOTTAINAIもっと」が活用された。</p> <p>http://www.jc.u-aizu.ac.jp/11/142/comp/mead2017/mead2017.htm</p>
		<p>地元酒造メーカーの銘酒頒布会用日本酒ラベルデザイン</p>	<p>末廣酒造株式会社からの依頼で本学学生対象に行われたデザインコンペ。銘酒頒布会用日本酒ラベルデザインを学生が制作し応募するもの。審査の結果、デザイン情報コース学生6名(渡辺彩子・根元かな子・石山蓮・兼田桃佳・渡部茜・大関美咲)の作品がデザイン採用となった。ラベル採用された日本酒は2018年1月から販売される。</p>
<p>その他</p>		<p>会津ファンクラブ会報誌のモデル</p>	<p>一般財団法人会津若松観光ビューローから「会津ファンクラブ会報誌VOL.12」の特集ページを短大生がモデルとして出演することを依頼され、高橋の仲介によりデザイン情報コース2年生の学生2名が担当した。</p>

産業情報学科 横尾 誠	地域プロジェクト	ICT フレームワークを用いたグローバル・ブランディング戦略～地方創生・復興のためのデータ解析と構築～	地域活性化に取り組む会津地域でのフィールドワークを通して、効果的なプロモーションプランを作成する。その中で、会津若松市湊地区について担当している。
	卒業研究	会津若松市湊地区地域活性化のための活動紹介コンテンツとホームページ制作	会津若松市湊地区では地域の活性化につなげるための活動を積極的に行っている。その中心となっているのが湊地区地域活性化協議会であり、その活動の記録と湊地区の魅力になりえるパンフレットとWebコンテンツを制作する。
産業情報学科 北本 雅久	卒業研究	小学校と地域をつなぐロゴ	会津若松市内の小学校 19 校のそれぞれの特徴を視覚的に伝えるロゴの制作
		川連漆器の知名度向上を図るグラフィックデザイン	秋田県湯沢市川連地区に伝わる「川連漆器」をPRするためのロゴ・ポスター・パンフレットの制作
		七日町通りの紙袋デザイン	七日町通りにある約 40 店舗分の紙袋デザイン
		「会津彼岸獅子」を伝えるポスターの提案	会津地域に伝わる「会津彼岸獅子」の地区ごとの特徴を視覚的に伝えるポスターデザイン
		新しい御朱印帳の提案～神社への参詣を促すツール～	若い女性たちが会津地域の神社に参詣したくなるような新しいかたちの御朱印帳の制作

		北会津こどもの村幼保園の VI の提案	<p>北会津こどもの村幼保園のロゴ・広報物・サインデザインの制作</p> <p>※VI(ビジュアル・アイデンティティ)＝視覚の統一。ロゴマークを軸に、各種デザイン要素を統一し企業・団体等が発信したいイメージを効果的に表現するためのもの。</p>
食物栄養学科 左 一八	ゼミ活動	会津地域農産物の機能性成分の探索	<p>会津地域の農産物に含まれている機能性成分、特に滋養強壮・体を温める成分の調査研究を行ってきた。これらの活動を通して、地域で生産される農産物に対する興味をより広げる機会を得た。機能性成分を有効に使ったレシピを考案した。</p>
食物栄養学科 左 一八 阿部 桂子	その他 (H29 年度 福島県学 術教育振 興財団助 成金による 事業)	NPO 法人猪苗代研究所主催 オハラ☆ブレイク 17 への食材 を用いたオリジナルメニューの 出展	<p>NPO 法人猪苗代研究所(いなラボ)主催の地産メニューコンテストに、会津余蒔ききゅうりを使ったオリジナルメニューを開発、出展した。8月4-6日に猪苗代湖畔で行われたオハラ☆ブレイク 17でのメニューに採用された。8月5日には、左ゼミの学生、教員2名が会場でメニューを調理、提供する活動を行った。</p>
		会津産食材を利用した新たな メニュー確立(オタネニンジン と小菊かぼちゃを使った機能性 メニューの確立)	<p>オタネニンジンと小菊かぼちゃの食品的特徴のことから栄養成分、機能性成分について学生(左ゼミ所属)が調査した結果をもとに、新たな和食メニュー開発を行った。和食メニューや食材情報の英語化を行い、会津若松市内在住外国人 15名参加のクッキングセミナーを11月25日に実施し、伝統食材と和食に関する英語情報を発信した。また、HP上での情報発信を行った。</p>

<p>食物栄養学科 宮下 朋子</p>	<p>ゼミ活動</p>	<p>うま味調味料を用いた減塩郷土料理の検討-「こづゆ」について</p>	<p>会津の郷土料理は、塩分が高く、摂取過多が懸念される。そこで、「こづゆ」にうま味調味料を用いることで減塩の可能性を検討した。官能評価の結果、24%減塩され、嗜好性も上がった。このことから、うま味調味料を郷土料理に使用することで、「健康的な郷土料理の伝承」が可能となることがわかった。</p>
<p>食物栄養学科 鈴木 秀子</p>	<p>ゼミ活動</p>	<p>食環境整備</p>	<p>旅館による食環境整備のために、旅館に設置する栄養情報パンフレットを作成した。また、旅館のお客様に求められている栄養情報を探るために、パンフレット読者アンケートを実施し、現在、集計分析中。</p>
	<p>ゼミ活動 ・サークル活動</p>	<p>食育普及活動</p>	<p>(1) 2017 年度紅翔祭における食育ひろばの開設 2017 年度紅翔祭で食育ひろばを開設。クイズラリーなどによる参加型食育を実施し、食に関する知識の普及活動を行った。</p>
		<p>食育普及活動</p>	<p>(2) 学生を対象とした料理教室の開催 大学・短大生を対象に料理教室を 1 回開催し、料理を作ることを通した食育活動を行った。</p>
		<p>食育普及活動</p>	<p>(3) 自治体等の健康づくりイベント等における食育活動 ① ドクトル野口健康まつり(会津若松市野口英世青春通り協議会主催、6 月と 10 月の 2 回)において、食育ブースを出展。食育クイズラリー、美(微)塩講座、食育の木、食べものビンゴを実施し、食育普及活動を行った。</p>
		<p>食育普及活動</p>	<p>② 会津若松市健康祭(会津若松市主催)において食育ブースを出展。食育クイズラリー、食べものビンゴ、朝食喫食や美(微)塩に関する掲示を行い、食育普及活動を行った。</p>
		<p>食育普及活動</p>	<p>③ チャレンジふくしま県民運動フェスタ(チャレンジふくしま県民運動協議会主催)において、食育ブースを出展。食育クイズラリー、朝食喫食や</p>

			美(微)塩に関する展示を行い、食育普及活動を行った。
		食育普及活動	④ 健康長寿いきいき県民フェスティバル(福島県主催)において、食育ブースを出展。食育クイズラリー、減塩・野菜摂取に関する展示を行い、食育普及活動を行った。
		通学合宿事業参加	小学生の通学合宿事業運営ボランティア立子山いきいきふれあい合宿事業実行委員会が実施している「立子山いきいきふれあい合宿事業」にボランティア参加し、子どもたちと一緒に食事作りを行ったり、交流を深めたりして、事業運営に関わった。
食物栄養学科 加藤 亮	ゼミ活動	企業と連携した保健活動	会津ゼネラル HD と協力し、肥満者と非肥満者について職場別に栄養素摂取量、身体活動量を測定し、データの解析を行った。学生は企業との連絡、データの入出力を行い、企業における健康増進に寄与した。
		会津坂下町・健康と産業と文化の祭典における食育ブース	11月3日に行われた「健康と産業と文化の祭典」においてフードモデルを用いた食事診断のブースを設置し、一般の参加者に栄養指導を行った。
食物栄養学科 小林 未希	ゼミ活動	会津産米粉普及活動	会津若松市農政課主催の米粉料理コンテストに、ゼミ生各自オリジナル料理を考案し出品した。一次審査を通過した3品が、10月14日に生涯学習総合センターで行われた二次審査に臨んだ。惜しくも入賞はできなかったが、学生の米粉に対する興味関心および手軽に米粉を利活用できる機会を得られた。
幼児教育学科 市川 和彦	ボランティア活動	障害のある方、地域の方との余暇活動を通しての交流の促進(ふらっとフェスタ)	10月22日、本学体育館において市川ゼミと会津若松余暇活動支援センターふらっと、とのコラボによるイベント「ふらっとフェスタ」を開催した。障がい者支援施設の利用者、在宅の障がい者、ヘルパー、ボランティア合わせて100名ほどの方が参加された。 1 レクリエーション 2 ふらっとバンド

			<p>3 会津大学短期大生によるゴスペル演奏</p> <p>4 芋煮会、カラオケ大会</p>
		障害のある方、地域の方との余暇活動を通しての交流の促進（ふらっと縁日）	8月5日、野口英世青春広場で市川ゼミと会津若松余暇活動支援センターふらっと、とのコラボによるイベント「ふらっと縁日」を開催した。学生ボランティアが20名ほど参加した。
		障害児者施設を訪問してダンスを通じた余暇活動を通しての交流の促進	障がい者支援施設「ゆきわり荘」「ぼんたい荘」を毎月1回訪問しダンスを指導した。 12月3日障がい者支援施設「あぶくま更生園」を訪問し音楽・ダンスを通しての交流を行った。
幼児教育学科 河原田 潤	ボランティア活動	みんぼう愛・会カフェ	2017年7月15日福島民報社主催の子育て中の母親を応援するイベント「みんぼう愛・会カフェ」が開催され、本学1年生がボランティアとして参加した。本学教員が手遊び・歌遊び、ゲーム、子育て相談等を担当し、学生は教員の補佐及び参加者と関わる等の活動を行った。その様子は新聞記事や地元広報誌に取り上げられ報道された。参加者約30名。
	ゼミ活動	保育所交流	2017年12月14日会津若松中央保育所において、本学ゼミ生8名と3～5歳児児50名が日頃から学生が取り組む教材研究の成果を発揮して手遊び、ゲーム、器楽合奏を通じて子どもたちと交流した。
幼児教育学科 久保美由紀	授業・ボランティア活動	あさがおプロジェクト	2012年度から毎年参加して下さっている大熊町の方々に大熊町社会福祉協議会から声をかけていただき、授業時間を活用し大熊町の方々に、学生と一緒に大学構内の一画に朝顔の花壇をつくる活動を行った。朝顔以外にも自宅で株分けをしたマリーゴールドを持参していただいたもの、ひまわりの種など、参加されている方が少しでも思い思いの作業ができるような機会をつくった。 また、花壇づくりの作業終了後は、大熊町の方々が準備して下さった昼食を食べながら相互に現在

			のこと、これまでのことなど他世代間での交流を図った。
		クリスマス会	大熊町社会福祉協議会との共同の取り組みとして2013年度より毎年12月に実施している。学生が作成した案内文を大熊町社会福祉協議会の広報誌に掲載していただき、大熊町の方々に参加を呼びかけている。クリスマス会は、学生が企画、準備を全て行い単に招待をするだけではなく、参加者の方が一緒に楽しむ時間が持てるよう事前に社会福祉協議会の方と打ち合わせをしながら実施している。
幼児教育学科 鈴木 勲	ゼミ活動	社会的養護に関する実践教育の実施	家庭養育の場から社会的養護の場へ移行する過程について、児童相談所や児童養護施設、乳児院を見学し、県内の社会的養護の実情について理解を深めた。また、司法福祉領域の理解を深めるために、少年鑑別所や地域生活定着支援センターの見学も行った。
	地域プロジェクト	造形ワークショップ「つないでつくろう！あか、あお、きいろ」	平成29年5月14日、喜多方市エーコードにて行った造形ワークショップ。子どもを対象に、染色した木片を用いて構成し、オブジェを制作した。また導入として南会津の玩具メーカー、マストロ・ジェペットの積木を用いた。
		造形ワークショップ「アクアリウムをつくろう」	平成29年7月23日、ツタヤ滝沢店にて開催された夏季イベントの一環として行った造形ワークショップ。地域の子どもたちを対象に、洗濯のりとビーズの組み合わせを考えて、アクアリウムの制作をした。
		造形ワークショップ「アクアリウムをつくろう」	平成29年8月4日、ツタヤ神明通店にて開催された「会津短大生の手作り夏のフェスティバル」の一環として行った造形ワークショップ。地域の子どもたちを対象に、洗濯のりとビーズの組み合わせを考えて、アクアリウムの制作をした。
		造形ワークショップ「点で描くプラネタリウム ミニ」	平成29年10月29日、会津自然の家にて行われた「あったかふれあいまつり」の一環として行った造形ワークショップ。子どもを対象に、蓄光塗料を用いて、円錐状の黒画用紙に点描による表現で簡易なプラネタリウムの制作を行った。

		赤十字献血ボランティアクリスマスキャンペーン	平成29年12月10日、17日に会津若松市アピタにて企画されている赤十字献血クリスマスキャンペーンにて、造形ワークショップを予定している。松ぼっくりを用いたクリスマスツリーの制作を予定している。
ゼミ活動		赤十字献血ボランティアに伴うワークショップ	平成29年5月7日、会津若松市アピタにて開催された献血イベントに、ゼミ活動として毛糸を用いたワークショップ「ぽんぽんづくり」を企画、実施した。献血している保護者を待つ子どもを預かりながら、制作を行った。
		造形ワークショップ「キャンドル作り」	平成29年10月14-15日、本学大学祭、紅翔祭にて行った造形ワークショップ。会津地区の伝統工芸である絵蠟燭に親しむきっかけとなるように検討しキャンドル制作を行った。小学生以上を対象に、溶かしたロウを容器に注ぎ、ビーズ等で装飾した。
ボランティア活動		会津てらこや活動補助ボランティア	平成29年4月以降、毎月2日間長原仮設南集会所にて、NPO法人 全国てらこやネットワークが運営する会津てらこやに、本学サークル会津学生ボランティア連絡会から、11月現在累計11名の学生がボランティア活動に参加している。大熊町の子どもたちを対象に、学習、活動の補助を行う。
		子ども食堂学生ボランティア	平成29年4月から、会津若松市南公民館にて、毎週火曜日に特定非営利活動法人寺子屋方丈舎が運営される子ども食堂に、本学サークル会津学生ボランティア連絡会から延べ22名の学生が参加している。子どもと一緒に調理、食事をし、夕食後の学習支援を行う。
		第2回ボランティアまつり	平成28年5月27日、本学にて開催された第1回ボランティアまつりにて、本学サークル会津学生ボランティア連絡会から5名の学生が運営スタッフと

			してボランティア活動を行う。子どもの遊び場、模擬店、バザー等の運営、記録に携わった。
		赤十字献血ボランティア	平成29年5月4日、7日、21日、7月23日、8月13日に会津若松市アピタにて開催された献血イベントに、本学サークル会津学生ボランティア連絡会から延べ8名の学生が参加した。献血推進活動の補助、キッズスペースでの子どもの活動を援助した。
		運営補助ボランティア	平成29年5月21日、会津若松市あいづドームにて行われた第55回福島県総合体育大会にて行われたフライングディスクの競技サポートボランティアに、本学サークル会津学生ボランティア連絡会から3名の学生が参加した。
		赤十字献血セミナー	平成29年6月3日、郡山市S-PAL郡山にて開催された献血セミナーに、本学サークル会津学生ボランティア連絡会から2名の学生が参加した。セミナーを通して献血ボランティアの重要性を学び、県内他大学のボランティアサークルと交流した。
		大熊キッズスポーツ遊び大会	平成29年7月22日、本学にて開催された大熊キッズスポーツ大会に、本学サークル会津学生ボランティア連絡会から3名の学生が参加した。大熊町と会津の子どもたちの活動を補助するスタッフとして活動し運営に携わった。
		鶴成館祭り運営補助ボランティア	平成29年9月16日、会津若松市、鶴成館にて行われた鶴成館祭りの運営補助スタッフとして、本学サークル会津学生ボランティア連絡会から2名の学生が参加し、ボランティア活動を行った。
		ちいさな黄色い手紙展	平成29年11月4-23日、福島県立博物館にて、復興支援事業としての企画展「ちいさな黄色い手紙展」を開催した。愛知県渥美半島の菜の花を通して、福島、ウクライナをつなぐプロジェクトとして、3地域の子どもの作品を同時展示した。

<p>支援活動</p>			<p>平成 29 年 12 月 13 日、ウクライナ、ジトミール、ジトミール青少年芸術センターにて、復興支援事業としての企画展「ちいさな黄色い手紙展」の開催を予定している。愛知県渥美半島の菜の花を通して、福島、ウクライナをつなぐプロジェクトとして、3 地域の子どもたちの作品を同時展示する。</p>
		<p>ちいさな黄色い手紙プロジェクトワークショップ「つなげて描く絵巻物 ～リプライ、ちいさな黄色い手紙～」</p>	<p>平成 29 年 11 月 13-14 日、大熊町立大野小学校、大熊町立熊町小学校にて復興支援事業「ちいさな黄色い手紙プロジェクト」の一環として、造形ワークショップ「つなげて描く絵巻物 ～リプライ、ちいさな黄色い手紙～」を行った。ロール紙にクレヨンで描いた菜の花に蓄光塗料を加えて表現した。本作品は愛知の子どもたちの続きを描くことで、地域をつなぐ作品となった。</p>
		<p>ちいさな黄色い手紙プロジェクトワークショップ「つなげて描く絵巻物 ～リプライ、ちいさな黄色い手紙～」</p>	<p>平成 29 年 11 月 18 日、福島県立博物館にて復興支援事業「ちいさな黄色い手紙プロジェクト」の一環として、造形ワークショップ「つなげて描く絵巻物 ～リプライ、ちいさな黄色い手紙～」を行った。ロール紙にクレヨンで描いた菜の花に蓄光塗料を加えて表現した。本作品は愛知の子どもたちから始まり、大熊町の子どもたちの続きを描くことで、地域をつなぐ作品となった。</p>
			<p>平成 29 年 12 月 11-13 日、ウクライナ、チェルノブイリ、ジトミールにて復興支援事業「ちいさな黄色い手紙プロジェクト」の一環として、造形ワークショップ「つなげて描く絵巻物 ～リプライ、ちいさな黄色い手紙～」を行う予定である。ロール紙にクレヨンで描いた菜の花に蓄光塗料を加えて表現する。本作品は愛知、福島の子どもの続きを描くことで、地域をつなぐ作品を目指す。</p>

